



佐志小学校 教育相談通信 2021・10・5



## Adoさんの『うっせいわ』の歌詞・・・

朝晩肌寒いと感じる季節になりました。日々入ってくるニュースは落ち着かない話題ばかりですね。それでも個人的には家事、仕事、子育てと日常が動いていきます。

今年よく耳にした歌の1つに adoさんの『うっせいわ』があります。テンポ的にこんなに発散できたら気持ちいいだろうと思います。小中学生に聞くと、嫌なことがあってもさびの部分で歌うとスッキリするそうです。一部歌詞を抜粋してみました。

正しさとは 愚かさとは  
それが何か見せつけてやる

ちっちゃな頃から優等生  
気づいたら大人になっていた  
ナイフの様な思考回路  
持ち合わせる訳もなく  
でも遊び足りない 何か足りない  
困っちゃうこれは誰かのせい  
あてもなくただ混乱するエイデイ

外から見たら優等生。  
道を踏み外すことなく、着実に生きてきた人物のよう。  
しかし、内側では何か悶々とした気  
持ちや虚無感を抱え

はあ？うっせえうっせえうっせえわ  
あなたが思うより健康です  
一切合切凡庸な  
あなたじゃ分からないかもね

Ado『うっせいわ』より

若い人のモヤモヤした感覚がよく伝わります。想像していた年代より上のようで、どうやら設定は社会人の様です。挑発的で攻撃的な歌詞の内容に初めは驚きました。一見、社会や大人への反発だけのように聞こえます・・・。何回か読んでみると、様々な思いがくみ取れます。

今までは親や社会の望む自分を生きてきた。そして、自分らしく生きてこなかった自分に気づき昔の自分と決別しようと言っている。外に向いているその攻撃性はそのまま自分自身へと向いているように思えませんか？彼女が周りを責めれば責めるほど彼女の中の悲しみの深さが伝わります。そして彼女は決断します。

「人がどう思おうと自分らしくこれからは生きるのだ」と。今その意思是未来に向かっていきます。強さも感じますね。大人も子どもも一端怒りを外に向けて発散することで、素直に自分自身を振り返ることができます。歌の中の彼女も次の曲では柔らかに前向きに生きているのではないかと思います。

子どもの反抗も大切な成長のプロセスです。そんなときは大人がムキにならずその怒りの背後にある悲しみを想像してあげましょう。それを感じることが出来ると、なんとなく優しい気持ちになれて親自身も癒やされます。

(文：時川ちづる)



スクールカウンセラー来校予定日【8：15～12：15】【13：00～17：00】

相談予約（1時間無料です）は、学校へお電話を。

【月曜終日】10月11日，11月8日，12月6日，1月31日，2月21日